Hakuhodo DY ONE

News Release

2026年11月25日
株式会社Hakuhodo DY ONE

Hakuhodo DY ONE、AI 時代の統合マーケティングコミュニケーションを設計・実装する専門チーム「HAIX（ハイクス）」を発足

～生活者の問いを起点に、AIと生活者の双方に向けた情報コミュニケーションを設計し、施策の実行・改善までを支援～

株式会社Hakuhodo DY ONE（本社：東京都港区、代表取締役社長：北爪宏彰、以下 Hakuhodo DY ONE）は、AIによる商品・サービスの推奨と生活者の選択を後押しするための戦略策定から制作・実装、効果検証までを一貫して支援する専門チーム「HAIX（Human with AI eXperience／ハイクス）」を発足いたします。クリエイティブディレクター／クリエイティブプランナー、ストラテジックプランナー、SEO／AIO（AI最適化）ディレクター、メディアプランナーを中核に、戦略策定からコンテンツや施策の制作・実装、効果検証までを一貫して担います。



■背景

生成AIやAI検索の普及に伴い、生活者が商品やサービスについてAIに問いかけ、その回答を参考に比較・検討する行動が急速に広がっています。生活者の情報探索やブランド選択のプロセスが変化するなか、企業には、AIに自社商品・サービスを正しく理解してもらうための情報設計と、生活者の認知・選好・行動を生み出すコミュニケーションを、一体で捉えることが求められています。

一方で、企業がAIの回答で自社の商品・サービスがどのように紹介されているかを把握する取り組みと、広告、オウンドメディア施策をはじめPRやソーシャルメディア施策など生活者向けの施策は、個別に検討されることも少なくありません。そのため、AIの回答に影響する情報と、生活者の最終的な選択を後押しする体験をつなぎ、継続的に改善するための統合的なアプローチが必要です。

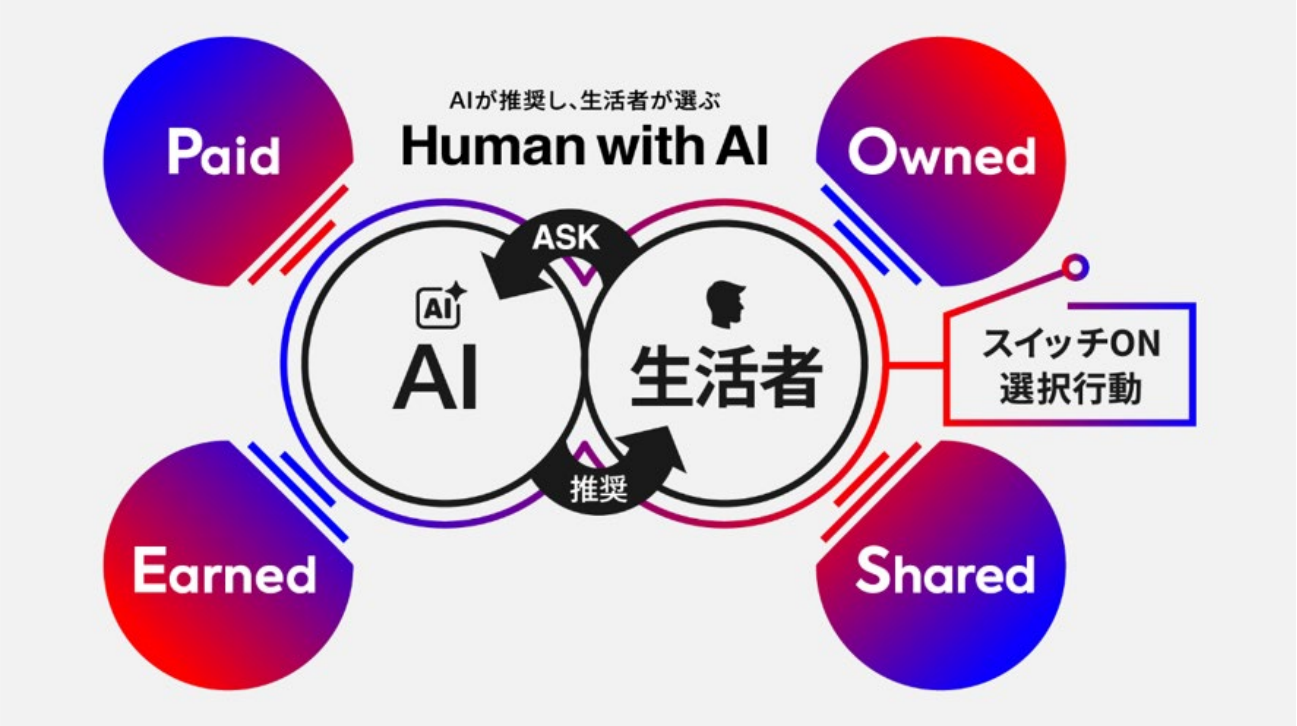
こうした背景を受け、Hakuhodo DY ONEは、博報堂ＤＹグループの横断的なAI専門家集団HCAI Professionalsの活動として、博報堂ＤＹグループが培ってきた生活者発想に、デジタルマーケティングの専門性と実装力を掛け合わせ、生活者の問いの発見から、各接点での施策実行、データにもとづく改善までを支援する専門チーム「HAIX（Human with AI eXperience／ハイクス）」を発足します。

■HAIXの特長―AIに推奨され、人に選ばれるための情報設計・実装

HAIXは、生成AIが生活者の情報収集や比較・検討に関わる時代に、AIへの情報設計と生活者向けコミュニケーションを統合して支援する専門チームです。生活者のAIへの相談（問い）や検索需要の分析、合わせてAI回答における自社・競合のコンテクストを分析することで、重点的に取り組むべき「勝てる問い（ASK）」*を発見します。

＊「勝てる問い（ASK）」：生活者が消費行動の中でAIに投げかける問いのうち、現状のAI回答、市場環境、自社の強みを示すエビデンスや、自社・サービスが目指す未来をふまえ、AIに推奨され、生活者に選ばれることを目指し、戦略的に設定する問い。

さらに、Paid（広告）、Earned（報道・第三者評価）、Shared（SNS・共有）、Owned（自社メディア）を連動させ、AIが商品・サービスを理解・参照するためのPESO設計と、生活者の選択を後押しできる情報・体験のPESO設計をダブルでおこなっていきます。この二つのPESO設計を組み合わせた「W-PESO（ダブルPESO）」により、戦略設計、制作・実装から、効果検証、改善までを一貫して支援します。



■「HAIX」戦略策定から改善までの4ステップ

企業のマーケティング課題に応じて次の4ステップで、戦略策定から制作・実装、効果検証までを一貫して支援します。

1. Discovery：膨大で多様な生活者データから「勝てる問い」を発見

国内最大級のDMP「AudienceOne®」※1をはじめとするデータ基盤や分析ツールを活用します。生活者の行動や関心、検索需要と、AIの回答における自社・競合の推奨状況を掛け合わせて分析をおこないます。需要が高いにもかかわらず、自社がAIの回答で十分に候補に挙がっていない問いなどを洗い出し、生活者のニーズと自社の強みが交わる「勝てる問い」や、新たな需要機会を発見します。

2. Planning：AIと生活者に向けた情報・体験を統合的に設計

「勝てる問い」を起点に、生活者のニーズに対して、商品・サービスのどのような価値を、どこでどのように伝えるかを策定します。個々のキーワードや接点の最適化にとどまらず、生活者がどのような文脈で情報に触れ、関心を持ち、納得して選択するかという視点で、AIが商品・サービスの価値を理解し、推奨するための情報と、生活者の気持ちを動かし、選択を後押しする情報・体験を一体で設計します。

3. Execution：専門研究の最新知見と豊富な実績にもとづく施策の実装

「ONE-AIO Lab」※2の最新知見と、企業のAIO支援を通じて培ったノウハウを活用し、生活者の関心を引き出す広告やコンテンツの制作、AIが商品・サービスの価値や根拠を参照しやすくする自社サイトの情報整備などをおこないます。広告、自社メディア、PR、SNSなどの接点を連動させ、AIに推奨され、人に選ばれるための情報・体験を実装します。

4.　Monitoring：AI推奨・行動データにもとづくモニタリング

重点的に取り組む問いに対するAIの回答や、自社・競合の推奨状況を継続的に観測・分析します。生活者の情報収集行動や施策への反応と合わせて効果と課題を検証し、情報設計や施策の改善につなげます。

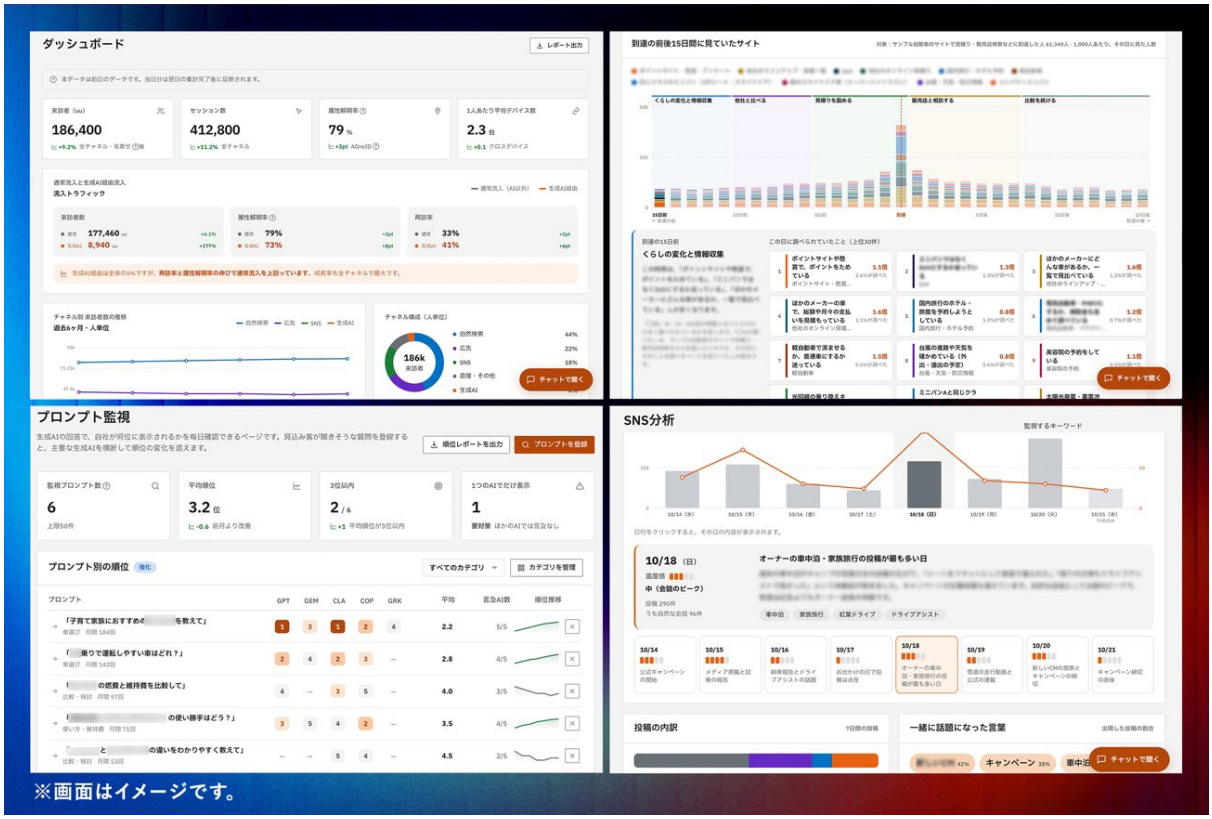


■「HAIX」の専門スタッフと連携する組織、ツール

「HAIX」は、クリエイティブディレクター／クリエイティブプランナー、ストラテジックプランナー、SEO／AIOディレクター、メディアプランナーを中核に、マーケティング課題に応じた専門人材で編成されています。

また、AIO領域では、AI検索上のブランド表示状況の可視化、回答内容の評価、情報発信戦略の策定・効果検証、検索アルゴリズムの研究をおこなう「ONE-AIO Lab」と連携します。同組織は、常時100万件以上のキーワードのモニタリングや、外部パートナーとの共同実証・検証を通じて、AI検索に関する知見を蓄積している研究開発組織です。

併せて「HAIX」では、2兆レコード以上のデータを保有する国内最大級のDMP「AudienceOne®」をはじめとするデータ基盤を活用し、AI推奨と生活者行動を一体で可視化するAIO統合マーケティングダッシュボード（順次提供予定）によるモニタリングをおこなっていきます。ダッシュボードでは重点的に取り組むべき「勝てる問い」に対して複数のプロンプトを設定し、主要な生成AIにおける自社の商品・サービスの推奨順位や、競合とのポジションの変化を継続的に可視化します。さらに、生成AI、検索、広告などの流入経路別に、サイト訪問者の関心やコンバージョン率（CVR）、訪問前後の情報収集・比較検討行動を分析します。AI上での推奨状況と生活者の反応・行動の両面から課題を見極め、コンテンツや施策の継続的な改善につなげます。



AIO統合マーケティングダッシュボード

※画面はイメージです。表示されている数値・分析内容はすべて架空のものであり、実際の実績を示すものではありません。

■ 今後の展望

「HAIX」では、これらの専門スタッフ、専門組織、専門ツールの知見を掛け合わせることで、ワンストップでAI時代の統合マーケティングコミュニケーションを支援していきます。また、先にリリースされた博報堂ＤＹグループ全体のスキーム「AIO Communication ONE」※3とも連携し、それぞれの会社が持つ高い専門性を活かし、企業の課題や既存の取り組みに応じて、戦略立案から実装まで柔軟に支援していきます。

※1「AudienceOne®」：Hakuhodo DY ONE で開発・提供している国内最大級のデータ・マネジメント・プラットフォーム（DMP）。月間 4.8 億ユニークブラウザ、1 億以上のモバイル広告 ID、2 兆レコード以上の膨大な 3rd パーティデータと多様なデータパートナーから提供された専門領域データ（2nd パーティデータ）を保有し、それらを解析して高精度なセグメントデータを生成・提供しています。

※2「ONE-AIO Lab」：AI 検索におけるブランド戦略の設計と、事業成長の支援を専門とする AIO（AI 最適化）の研究開発組織。ブランド情報の可視化や AI 回答の評価、情報発信戦略の策定・効果検証、検索アルゴリズムの研究を推進しています。企業が最適な情報発信戦略を策定するためのより高度なソリューションを開発・提供し、AI 時代における企業のブランド価値向上と持続的な成長に貢献しています。
参照：Hakuhodo DY ONE リリース
https://www.hakuhodody-one.co.jp/news/news-release_202510024343/

※3 「AIO Communication ONE」：「人と AI の双方に選ばれる」コミュニケーションを実現する博報堂ＤＹグループの AIO 起点の PESO 統合対応スキーム 。博報堂ＤＹグループ各社が連携し、生活者の"問い"の発見から、PESO 横断のデータ統合・投資配分の設計までを支援します。
参照：Hakuhodo DY ONE リリース
https://www.hakuhodody-one.co.jp/news/2026/11/99uarf79d/

以上

＜会社概要＞

■株式会社Hakuhodo DY ONE　　https://www.hakuhodody-one.co.jp

Hakuhodo DY ONEは、インターネット広告黎明期より培ったデジタル広告の知見とノウハウを活かし、統合的なデジタルマーケティングサービスを提供しています。マーケティング戦略立案力、クリエイティビティ、高度な運用力と技術開発力、媒体社・プラットフォーマーとの強固な関係性を強みとし、国内外のクライアント企業に対して、デジタル起点でのマーケティング戦略やテクノロジー活用を包括的に支援します。

博報堂ＤＹグループの「デジタルコア」として、グループ内のナレッジやリソースを集約し、高い専門性と提案力を併せ持つ企業として業界随一のデジタルマーケティング会社となることを目指します。

クライアント企業にとって唯一の「ONE」の存在となるため常に挑戦・前進し、事業成長を支援するビジネスパートナーとして伴走することで、クライアント企業の持続的な成長と、企業価値向上に貢献してまいります。

本社所在地 ： 〒107-6316 東京都港区赤坂5丁目3-1 赤坂Bizタワー
代　表　者 ： 代表取締役社長　北爪宏彰
社　員　数 ： 3,290名（2026年4月1日時点）
創　　立 ： 2024年4月1日
事 業 内 容 ： デジタルマーケティング全般にまつわる企画・コンサルティング・代行事業・投資事業

【本件についてのお問い合わせ】
株式会社Hakuhodo DY ONE
広報担当　E-mail：info-pr@hakuhodody-one.co.jp